

大石将紀

サクソフォン

プロジェクト

#3 サクソフォン 笙

邦楽器

現代音楽

“あらゆる意味で完璧な音楽家”
細川俊夫（作曲家）

“大石将紀の演奏を聞いてるのは、
「らしさ」とはきっぱり距離を置いた、
倫理的とでも呼びたくなる姿勢である。
かくして我々は、サクソフォンという楽器と、
もう一度、出会うことになるのだ”
沼野雄司（音楽学者）

2021年3月19日（金）

18時20分開場／19時開演

出演

大石将紀（サクソフォン）

宮田まゆみ（笙）

委嘱作曲家

細川俊夫

フランシスコ・アルヴァラド

《会場》

MUSICASA（ムジカーザ）

151-0066 東京都渋谷区西原 3-33-1

Tel.03-5454-0054

小田急線・東京メトロ千代田線

[代々木上原駅] 東口より徒歩2分

京王新線

[幡ヶ谷駅] 南口より徒歩12分

《チケット》

全席自由／税込

一般：4,000円

学生：3,000円

（当日券：+500円）

・チケットぴあ

<https://t.pia.jp/>

0570-02-9999

（Pコード：192-324）

・Peatix

<https://saxhougaku3.peatix.com/>

《お問い合わせ》

オーバス・ワン 03-5577-2072

ネット視聴：

1,000円 生配信＋視聴期間

3月20日12時～29日12時

インターネット配信実施

ネット視聴チケットをご購入いただくと、
コンサート翌日から10日間

公演の記録映像をご視聴いただけます。

3月18日までにご購入いただいた
場合は生配信でもご覧いただけます。

なお配信システムのトラブルにより、
映像や音声の乱れ、公演の一時中断、
途中終了の可能性がありますので
あらかじめご了承ください。

《チケット取り扱い》

《配信チケット》



<https://twitcasting.tv/c.masanoriois/shopcart/49664>

©HIJIKI

NOMURA 野村財団

NONAKA



大石将紀

サクソフォン

プロジェクト

第3 サクソフォン

邦楽器

現代音楽

笙

■プログラム

雙調調子 / 笙

Soujou no chousi / Sho

クロード・ドビュッシー：シランクス / サクソフォン

Claude Debussy : Syrinx / Saxophone

サルヴァトーレ・シャリーノ：歓喜の歌 / サクソフォン

Salvatore Sciarrino :

Canzona di ringraziamento / Saxophone

ートーク 笙の過去と現在ー

武満徹：ディスタンス（1972） / サクソフォン 笙

Toru Takemitsu :

Distance / Saxophone Sho

フランシスコ・アルヴァラド：委嘱作品 世界初演

（大石将紀委嘱 / 2021） / サクソフォン・笙

Francisco Alvarado :

New piece commissioned by M. Oishi / World premiere

細川俊夫：委嘱作品 世界初演

（大石将紀委嘱 / 2021） / サクソフォン・笙

Toshio Hosokawa :

New piece commissioned by M. Oishi / World premiere

■出演者プロフィール

大石将紀（サクソフォン）

東京藝術大学卒業。同大学院修了後渡仏、パリ国立高等音楽院・大学院修了。02～04年まで文化庁派遣芸術家海外研修員として研鑽を積む。在仏中は、ダヴォス国際音楽祭（スイス）等の音楽祭、ボンビドウセンターやルーブル美術館（共にパリ）のプロジェクトに参加。08年に帰国し東京オペラシティ財団「B→C」に出演。朝日新聞誌上等で高い評価を得た。以降エレクトロニクス作品・映像・パフォーマンスを取り入れた自主リサイタルや、サントリー・サマーフェスティバル、東京オペラシティ財団・コンポージウム、武生国際音楽祭などの出演、TV、ラジオへの出演、TVCMやドラマ、映画の劇版の録音、雑誌への連載執筆、（一財）地域創造の支援アーティストとして地域交流プログラムを展開するなど、幅広い活動を展開。14年所属する現代音楽グループ「東京現音計画」で第13回サントリー芸術財団佐治敬三賞受賞。

15年に「NO MAN'S LAND Masanori Oishi plays Jacob TV」をジパングレーベルより、また18年「SMOKE JAPANESE SOLO SAXOPH ONE WORKS」（レコード芸術誌特選盤）をオドラデックレコードより日本、アメリカ、ヨーロッパにてリリース。「SMOKE」は令和元年度文化庁芸術祭レコード部門優秀賞を受賞。現在、大阪音楽大学特任准教授、エリザベト音楽大学特別講師、東京藝術大学、洗足学園音楽大学非常勤講師。セルマーアーティスト。www.m-oishi.com

「伝統の継承とは永続的に現代化し直す行為である」

というフランス人の我が師の言葉。

日本人である私がフランスのお家芸サクソフォンを演奏するなら、自分の国の伝統楽器とサクソフォンを融合して現代化し音楽を創造しよう、そして自分の後に細い細い伝統の継承という道を作ろう、ということで始めたのがこの企画です。

第1回目はサクソフォンと三味線、第2回目はサクソフォンと和太鼓、サクソフォンと笙のための作品を国内外で活躍する作曲家に委嘱し初演、好評をいただきました。第3回目の今回は笙の巨匠、宮田まゆみさんをお迎えし、作曲界の巨匠細川俊夫さん、フランスで活躍するチリ人の若手作曲家フランシスコ・アルヴァラドさんの新曲を発表します。ぜひお立ち会いください。

大石将紀

■注意事項

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

※演奏曲目は出演者の都合により変更になる可能性があります。

■お問い合わせ オーバス・ワン

Tel. 03-5577-2072 E-mail. info@opus-one.jp

宮田まゆみ（笙）

東洋の伝統楽器「笙」を国際的に広めた第一人者。国立音楽大学ピアノ科卒業後、雅楽を学ぶ。古典雅楽はもとより、武満徹、J. ケージ、H. ラッヘンマン、細川俊夫など現代作品の初演も数多く、小澤征爾指揮サイトウ・キネン・オーケストラ、デュトワ指揮N響、プレヴィン指揮ニューヨーク・フィル、アシュケナージ指揮チェコ・フィル、大野和士指揮ベルギー王立歌劇場管、ノット指揮バンベルク響、準・メルクル指揮リヨン国立管、リープライヒ指揮ミュンヘン室内管、佐渡裕指揮ベルリン・ドイツ響、BBC 響、WDR ケルン放送響ほか国内外のトップオーケストラと数多く共演。加えて、ザルツブルク、ウィーン・モデルン、ルツェルン、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン、パリの秋、アヴィニオン、ダルムシュタット、タングルウッドをはじめとする各国の音楽祭への参加、ウィーン、パリ、アムステルダム、ミラノ、ニューヨークなどでのリサイタルと幅広く活躍。

98年の長野オリンピック開会式で「君が代」演奏の模様は全世界からの注目を集めた。

芸術選奨文部大臣新人賞、エイボン女性年度賞「芸術賞」、中島健蔵賞、横浜文化奨励賞、日本伝統文化振興賞、佐治敬三賞、松尾芸能賞優秀賞、芸術選奨文部科学大臣賞、紫綬褒章受章をそれぞれ受賞。国立音楽大学招聘教授。